



平成 22 年 5 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社 北川 鉄 工 所
 代表者名 取締役社長 北川 祐 治
 (コード番号 6 3 1 7 東証 第1部)
 問合せ先 取締役専務執行役員
 経営管理本部長 安藤 攻
 T E L 0847-45-4560

特別損失（操業度差異）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社において、下記のとおり特別損失（操業度差異）を計上することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 10 月 26 日に公表した平成 22 年 3 月期通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 特別損失（操業度差異）の計上及びその内容

工機事業部門において、生産が大幅に減少したことに伴い、設備稼働率が低下したために発生した操業度差異を特別損失として計上することとなりました。

特別損失計上額 734 百万円

2. 業績予想の修正

平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 30,000	百万円 △2,000	百万円 △2,000	百万円 △1,900	円 銭 △19.81
今 回 修 正 予 想 (B)	30,200	△900	△800	△1,500	△15.66
増 減 額 (B - A)	200	1,100	1,200	400	
増 減 率 (%)	0.7	—	—	—	
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 21 年 3 月 期)	43,571	△605	△991	△2,476	△25.80

修正の理由

市場環境の低迷が続くなか、第 4 四半期において若干の持ち直し傾向になりましたことから、売上高は前回発表予想値を確保する予定です。経常利益につきましては、操業度差異を特別損失に計上したこと、期初より進めてまいりました販売費及び一般管理費の削減に加え、生産性向上への取り組みが寄与したことにより、前回発表予想値を上回る見通しです。また、当期純利益につきましても、業績が回復したことにより、特別損失計上後で前回発表予想値を上回る見通しです。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上